

2 社 会

1 編集の具体的方針

(1) 「地理的分野」は1～7, 資料編1～4の11分冊, 「歴史的分野」は1～6, 資料編1・2の8分冊, 「公民的分野」は1～6および資料編の7分冊とする。

(2) 表題等の書き表し方は, 原則として次のようにする。

ア 大見出しは, ページ替えした後, 1行目に8マスあけて表題を書き, 次行に10マスの線を引く。

イ 中見出しは, ページ替えした後, 1行目に8マスまたは6マスあけて表題を書き, 後ろ1行をあける。

ウ 小見出しは, ページ替えした後, 1行目に6マスあけて表題を書く。

エ 小見出し冒頭の課題は, 前後をそれぞれ1行あけて書く(マークは示さない)。

オ 本文冒頭の項目は, 前1行をあけた後, 4マスあけて修飾記号をつけ表題を書く。

(3) 本文の表記について, 次のように留意する。

ア 「上(下)の～」は, 「○○ページの～」などの表現に修正する。

イ 本文中に人物等のイラストが入った会話部分は, 会話者の名前を挿入する。

ウ 本文又は資料中の「・○○○」等の箇条書きの記述は, 原則として「ア ○○○, イ ○○○, ウ ○○○ ……」などと符号を付して表す。

エ 点字使用生徒にとっては扱いが困難な視覚に頼る題材又は表現については, 適宜内容を修正する。

オ 本文中の活字の大きさやゴシック体で書かれた文字については考慮しないが, 指導上十分に配慮して取り扱うことが望ましい。

カ 人名, 地名, 国名は振り仮名どおりとし, 振り仮名がない場合は, 慣用読みとする。なお, 読み方が二通りある場合は, 上段の読み方を先に書き, 下段の読み方を括弧で囲んで記す。

(4) 図, 表, 写真, グラフ, 地図などは, 次のように取り扱う。

ア 挿絵については, 単元の学習上重要なものは, 触覚による観察が可能な範囲で点図等に修正する。

イ 写真は削除するが, 内容構成上不可欠なものについては, 必要な範囲で説明文を追加又は修正して「注」や「資料」として扱う。

ウ 図, 表, 地図などの削除, 修正は, 点図の技術的限界や触覚の特性を踏まえて行う。なお, 削除した場合も, できるだけ内容を生かすように配慮する。

エ 円グラフや棒グラフのうち, 点字使用生徒が理解しやすいものについては, そのままとするが, 数表の方が適切なものは数表化する。なお, 年代的推移などを表す折れ線グラフは, 最大限原典の意図を生かすように配慮する。

オ 図, 表, 地図, グラフ, 年表などで用いられている記号は, ア, イ, ウ……や略記号などを適宜用いる。

カ 地図は, その地図の意図する位置関係に主眼を置くこととし, 縮尺表示については原則として省略した。

(5) 「注」については, 次のように取り扱う。

ア 写真の説明などを「注」としたものは, 本文中に番号で示されている「注」とともに, 本文中の関連のある箇所に番号を付す。なお, 番号は項目の範囲内で通し番号とする。

イ 「注」は項目ごとに本文の後へ挿入し、「文中注記符」で示す。

ウ 必要に応じて、標題をつけた。

(6) 資料は、次のように取り扱う。

ア 本文中の資料の扱いについて

① 統計などの資料は、タイトルの次に年度と出典を括弧で囲んで書き、その後へ説明文、資料の順に記す。

② 資料は小見出しごとに本文の後（「注」がある場合はその後）へ挿入する。その際、本文や「注」の後を1行あけ、資料の内容に応じて異なる装飾線で題を挟む（一般的資料などは棒線、コラム的資料などは装飾棒線で挟む）。原典に資料の題がない場合は、必要に応じて標題をつけた。

③ 資料文の終わりを示す装飾線の後を1行あける。

イ 資料編に関する扱いについて

① 資料編に掲載する資料については、本文末（「注」がある場合はその後）へ次のようにして示す。

星印 表題 資料編〇〇 第〇〇図（〇〇ページ）参照。

② 資料編の掲載資料は次のとおりとする。

「地理的分野」についてはおもな地図や表、グラフを、「歴史的分野」についてはおもな歴史地図、グラビアページ及び年表を、「公民的分野」については巻末の「参考資料集」及び「学習に役立つおもな機関のホームページ」、「用語解説」を掲載した。

(7) 「地理を学ぼう」や「歴史の学習を始めるにあたって」はページ替えをし、題を二重線で挟む。

(8) 「資料から歴史を考えよう」「資料から考えよう」などの課題学習のページはページ替えをし、文の上下を点線で挟む。

(9) 「学習のまとめ」（歴史的分野）、「学習のまとめをしよう」（公民的分野）はページ替えをし、題を「レ」下がり線で挟む。

(10) コラム的な扱いをする箇所は、その都度修飾記号を使用する。

(11) 「地理的分野」及び「歴史的分野」の地図のうち、より立体的把握を要するものについては真空成形器で作成する。

(12) 「歴史的分野」の各章の冒頭にある年表及び各節のはじめに示された帯年表は、表記上の問題があるので削除するが、資料編の年表を有効に活用するよう配慮する必要がある。

(13) 索引は、本文最終巻末に入れた。

2 編集の具体的内容

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
地理	巻頭1	写真	削除	説明文と世界地図を生かし、資料編第1巻の第1図、第2図に表した。	巻頭2～4、および巻末5～6も同じ扱いとした。
	3	絵	修正	6人の生徒を紹介する絵は文章化した。	理解を容易にするため。
	5	絵	削除	各地の民族衣装を着た人物の絵は削除し、「こんにちは」の言い方のみ記載した。	複雑で分かりにくいいため。
	6～7	写真	削除	「月から見た地球」の写真及び付属する真理のせりふは削除した。	視覚以外の感覚を活用した学習が困難な課題であるため。
	7	写真	削除	向井さんの写真は削除し、説明文を本分中の注として記した。	同様な内容の箇所については、同じ扱いとした。
	12	図	修正	緯線、経線などを表した地球儀の図は、それぞれの図に分けて点図化した。	指導に際しては、立体地球儀など触覚による観察もあわせて行うことが望ましい。
	15	図	修正	地球の公転をあらわした図は、簡略化し夏至の位置のみを点図として表した。	複雑で分かりにくいいため。 また、指導に際しては、盲人用地球儀などの触覚による観察もあわせて行うことが望ましい。
	23	地図	修正	世界地図の描き方を表した図は、2枚の図に分けて点図化した。	同様な内容の箇所については、同じ扱いとした。
	25	欄外	修正	「やってみよう」の項目中の「グラフに表してみよう」という記述を「確かめてみよう」に改めた。	同様な内容の箇所については、同じ扱いとした。
	31	地図	削除	「いろいろな国名のなりたち」の地図は削除し、説明文を表にしてそれぞれの国ごとに表した。	複雑で分かりにくいいため。
	36	地図	修正	日本のまわりの国々を表した地図は、国名を書き込む欄を番号で示し点図化した。	教科書に書き込む作業的学習は困難であるため。
	46	地図	修正	日本地図を北東部、中央部、南西部の3枚の地図に分けて点図化した。また、生徒のイラストはすべて削除し、それぞれのせりふは分かりやすいように並べ替えて記述した。	点図を大きくすることで触覚による観察をしやすくするため。
	51	欄外	修正	「やってみよう（その1）」の項目中の「分布図をつくってみよう」を「10兆円以上の都道府県に印をつけてみよう」に改めた。	地図の色分けが難しいため。 また、指導に際しては印の付け方としてシール等を活用することが望ましい。
	51	欄外	修正	「やってみよう（その2）」の項目中の真理のせりふ「どのように区分したら見やすくなるか、考えて作ろう」を「どのようなものに印をつけたら分かりやすくなるか」に改めた。	指導に際しては、シール等を活用することが望ましい。

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
地理				るか、考えて作ろう」に改めた。	
	53	地図	修正	「地下鉄の路線図」,「箱根のイラストマップ」,「日本の夜間図」は削除し,説明文で表した。	複雑で分かりにくいため。 また,指導に際してはそれぞれの地図について説明を加えることが望ましい。
	55	地図 写真	修正	「日本の南西部(自然)」の地図は簡略化し,点図にした。また,写真は削除し説明文に対応する場所を地図上に示した。	複雑で分かりにくいため。また,説明文の場所を明確にすることによって理解を助けるため。 また,「日本の中央部(自然)(P.57)」,「日本の北東部(自然)(P.59)」も同様の扱いとした。
	56	写真	修正 追加	「日本の南西部(生活)」の衛星写真を点図化した。また,その他の写真は削除し,説明文に対応する場所を示すための地図を追加した。	「日本の中央部(生活)(P.58)」,「日本の北東部(生活)(P.60)」も同様の扱いとした。
	62	図	修正	図中のイラストは削除し,地図記号を拡大して点図化した。	理解を容易にするため。 指導に際しては,地図記号の形の意味などをあわせて説明することが望ましい。
	63	地図 写真 絵	削除	地形図,写真,絵は,すべて削除した。	地形図を点図にしても複雑で分かりにくいため。
	63	欄外	削除 修正	「わたしたちは,屋上から見える景色と地形図を比べてみました。」の文章を削除し,「JR八王子駅から高尾山頂までの距離」の項目中の説明を追加した。	地形図を削除したため,対応する箇所を修正した。
	64	地図	修正	地域観察の地図を簡略化し,点図にした。それぞれの生徒のせりふに対応する箇所を地図中に示した。 イラストは削除した。	理解を容易にするため。
	66	写真	削除	高尾山の写真は削除した。ポスターの内容については,説明文中に挿入した。	理解を容易にするため。
	66	地図	削除	八王子周辺の等高線と河川を示した図は削除した。	複雑で分かりにくく,また,本文中に説明もあるため。
	67	絵	修正	下段のふたりの人物のイラストは削除し,それぞれのせりふは,「工事事務所の人」,「市民グループの人」として説明文に挿入した。	同様な内容の箇所については,同じ扱いとした。
	79	図	修正	新聞,ポスター,OHPシート,パソコン画面は,できるだけその特徴を残しながら,記載されている文を点	複雑で分かりにくい,説明されている内容をでき

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
地理				訳した。	るだけ生かすため。
	80	図	修正	「ポスターセッション」、「ジグソー学習」、「ワークショップ」を説明する図は削除し、図示されている内容を文章で説明した。	図示するよりも文章で説明した方が理解しやすいため。
	81	写真	修正	「聞き取りに行ったカメラ工場」の写真は削除し、「聞き取りに行ったカメラ工場の写真をはり付ける」という表現を記載した。	レポートのまとめ方として写真を活用する場合もあるということを理解させるため。
	82～83	図	修正	図示されている内容を文章で説明したものに修正した。	図示するよりも文章で説明した方が理解しやすいため。
	94	図	修正	「北海道の主な農産物の全国に占める割合」の円グラフは、数表化した。	複雑で分かりにくいいため。
	114	図	修正	図「中国の工業生産」の生産額の大きさを円の大きさで表しているものを、1,000億元以上3,000億元未満と3,000億元以上の省と市に印をつけたものに修正した。	複雑で分かりにくいいため。
	134～135	写真	削除 修正	日本の風景写真は削除し、説明文のみをつけた。	写真については、必要に応じて指導者が説明するように配慮する。
	137	図	修正	「日本付近のプレート」の立体的見取図は、平面的な点図とした。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	138	図	削除	「川がつくる地形」は、削除した。	地形については、指導者が分かりやすく説明するように配慮する。
	141	地図	修正	降水量「300mm以上」と「200～300mm」を一つにまとめ、「200mm以上」とした。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	143	地図	修正	「桜の開花時期」の線は、削除した。	地図を簡略化し、分かりやすくするため。
	147	図	削除	「北上川流域のハザードマップ」は、削除した。	複雑すぎて、分かりにくいいため。
	151	印	修正	●印は、(1)、(2)、(3)に、一印はア、イ、ウ・・・の記号に替えた。	読みとりやすくするため。P.165の同様な箇所も同じ扱いとした。
	152	地図	修正	「世界の国の人口密度」の地図は、点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	152	グラフ	修正	「世界人口の変化」の棒グラフは削除し、折れ線グラフのみとした。	棒グラフについては、他に同じ資料があるため。
	153	グラフ	修正	「日本の人口構成」と「年齢別人口の割合の変化」のグラフは、点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
地理	155	地図	修正	「3.0%以上」と「2.0～3.0%」を合わせ、「2.0%以上」とし、「1.0～2.0%」と「0～1.0%」を合わせ「0～2.0%」として図示した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	166	地図	修正	「世界の主な国の国内総生産」と「世界の主な石油の移動」は、数表化した。	学習しやすいようにするため。
	167	地図	修正	「主な国の一人当たりのエネルギー消費量」は、数表化した。	学習しやすいようにするため。
	167	グラフ	修正	「主な国の産業別人口の割合」のグラフは、点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	168	グラフ	修正	「主な国の食料（穀物）自給率」のグラフは、点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	172	図	修正	「都道府県別収穫量が国内第1位の主な農作物」の図は数表化し、一覧にまとめた。	学習しやすいようにするため。
	178	グラフ	修正	「主な鉄生産の変化」は、中国、日本、韓国のグラフとそれ以外の国のグラフの2つに分けた。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	182	地図 写真	修正	「各地の主な伝統的工芸品」の写真は削除し、地図上に記号で場所を示した。	写真については必要に応じて説明するように配慮する。
	183	地図	修正	「日本各地の公害病の認定患者数」は、数表化した。	学習しやすいようにするため。
	184	グラフ	修正	「主な国の産業別人口の割合」と「日本の産業別人口の割合の変化」は、どちらも数表化した。	学習しやすいようにするため。
	186	グラフ	修正	「主な国の二酸化炭素排出量の割合」のグラフは、折れ線グラフのみ点図で表示し、円グラフは数表化した。	学習しやすいようにするため。
	187	折り込み 写真	修正	写真は削除し、写真の説明と場所を示した。	写真については、必要に応じて説明するように配慮する。
	188	地図	修正	「世界の主な環境問題」の地図は国境線を省略し、その上に環境問題の起きている範囲を示した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	191	印	修正	●印は、ア、イ、ウ・・・の記号に替えた。	読みとりやすくするため。P.215、P.229も同じ扱いとした。
	193	地図	削除	「日本とサモアの位置」の地図は、削除した。	位置関係については、指導者が分かりやすく説明するように配慮する。
	199	写真	削除	韓国、インド、パプアニューギニアの衣装等の写真は、削除した。	写真については、必要に応じて説明するように配慮する。
	214	写真	削除	「全国各地の名産品や特産品」の写真は削除し、一覧	写真については、必要に

分野	ページ	行	修正事項	修 正 内 容	備 考
地理				にまとめた。	応じて説明するように配慮する。
	216	グラフ	修正	「にぎりずしの材料の輸入先割合」の円グラフは、数表化した。	学習しやすいようにするため。
		地図	削除	「世界と日本の主な航空路線」は、削除した。	学習しやすいようにするため。
	217	地図	修正	「日本で学ぶ外国の子どもたち」の人数は、数表化した。	学習しやすいようにするため。
	218	地図	修正	「東京から世界各地への所要時間」は、数表化した。	学習しやすいようにするため。
	219	地図	削除 修正	「世界につながる海の道」は削除し、「スエズ運河、パナマ運河とマラッカ海峡の位置」の地図に替えた。	複雑すぎて、分かりにくい。
	223	地図	修正	「海底ケーブルのネットワーク」は削除した。「各国のインターネットの普及率」は数表化した。	学習しやすいようにするため。
	224	地図	修正	「日本の主な鉄道と高速道路」の地図は、新幹線と高速道路に分けて点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	227	地図	修正	「京阪神・中国・四国を結ぶ交通網」の地図は、高速道路のみ点図で示した。	地図を簡略化し、分かりやすくするため。
歴史	4	文末	追加	イラストの人物を次のように紹介した。 「なお、この教科書には所々に先生と生徒6名が登場し、会話があたり疑問や意見を述べています。生徒の名前は真理、勇樹、奈々、卓也、健太、静香です。」	教科書全体を通して登場するため。
	6	写真	修正	お札の写真は削除し、会話を「健太：1万円札の肖像は・・・」と修正した。	文を修正し、写真の意図を生かした。以下写真については同様の扱いとする。
	7	8	修正	「調べてみよう」の文を、お札の写真と関連づけて次のように修正した。 「昔使われていた1万円札、千円札、五百円札のうち・・・(以下原典どおり)・・・」	以下、「調べてみよう」や文注も内容を変えない範囲で、表現を修正することがある。
	10～11	年表	修正	年表例は削除し、内容を次の文章に修正した。 「・年表－西暦、世紀、時代（原始・古代・中世等の分け方と縄文時代・弥生時代・古墳時代等の分け方がある）、主なことがら（年代が判明しているものは具体的な数字をいれることが多い）などのすべて又は、必要に応じたものを年代順にあらわす。」	具体的な年表指導は、資料編2の年表や各章ごとの「学習のまとめ」の年表で行うことが望ましい。
	11		削除	囲みのある先生の話削除した。	単元ごとにある帯年表は、本文中に年代が表されており、また複雑になるため全体を通して削除する。
	15	年表	削除	グラビア中の年表は削除した。 (グラビアの年表については以下同じ。)	資料編2に年表があり、本文の「まとめ」にもある

分野	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
歴史					ため。
	16	帯年表	削除	本文の冒頭の帯年表は削除した。	以下各節とも同様の扱いとする。
		図	修正	「人類の進化の様子」の図のうち、脳の容積の変化以外を文章で表現した。	図で表現することが困難であるため。
	17	図	修正	「主な農作物の原産地」を、文章で表現した。	図が複雑になり理解しにくいため。
	22	写真	削除 修正	化石の写真は削除し、説明文を写真と関係させ一部修正し、文頭に「野尻湖で発見された化石」と題名をつけて示した。	單元ごとに示されている写真や絵、資料等には題がないものがあり、すべて題をつけて單元名の後に表す。以下同様の扱いとする。
	23	図	修正	「縄文人の食べ物」の図を、項目と季節ごとの表で表した。	点図では理解しにくいため。
	24	絵	修正	銅鐸に描かれた絵を二つ大きく点図化した。	触覚による観察を十分行うとともに、形と内容を把握できるよう指導者が補足説明することが望まれる。
	32	図	修正	四つの古墳の形を、真空成形器による図とした。	図に立体感を持たせるため。
	32	絵	削除	「江戸時代の人々が描いた古墳の絵」を削除した。	すでに同じような古墳の図があるため。
	39	地図	修正	飛鳥地方の地図を、都の跡と主な史跡、現在の鉄道を中心に描いた。	本文に書かれていることを中心に簡略化し、現在の位置も分かるように表した。
	41	図	修正	「調・庸を都まで運ぶために必要な日数」の日数の分け方を、5種類から3種類にした。	図が複雑にならないようにするため。
	42	写真	修正	「貴族と庶民の食事」の写真を文章化した。	具体的な品目で表し、違いをはっきりさせた。
	44	絵	削除	「荘園の様子」を削除した。	点図化が困難なため。指導者の補足説明が望まれる。
	46	写真	削除	法隆寺玉虫厨子の写真を、削除した。	図や文章での説明が難しいため。指導者の補足説明が望まれる。文化財や人物の絵や写真等は同様の扱いとする。
	50	図	修正	平仮名と片仮名の成り立ちを、点図で表した。	触覚でその変化が分かるように五つを大きく点図化した。

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
歴史	52	年表	修正	年表は見開きページとし、左に生産・社会・日本を、右にアジアと世界の出来事を示した。部分的に略記号を用いた。	以下、各章の年表はこれに準ずるが、章によって、文化等日本の一部が右に表されていることがある。
	59	絵	修正	「鎌倉周辺の地形」を、点図化した。	鎌倉の地形の特徴を理解しやすくするため。
	61	絵	削除	「備前国福岡の市」の絵を、削除した。	絵を読み取っての会話が続くので、絵の十分な補足説明が望まれる。
	65	地図	削除	元の勢力図を省略した。	資料編2に元の版図があるため。
	79	絵	削除 修正	3つの絵を削除し、ふくろうの文を次のように修正した。 「次の3つの絵画史料から、中世の女性や子どもの仕事の内容をさぐってみよう。 ① 大工仕事をする少年(…) ② 機を織る女性(…) ③ 米を売る女性(…)」	絵画を見て考えさせる課題なので、指導者は絵画についての十分な補足説明を行うことが望ましい。
	83	絵	削除 修正	三美神の二つの絵は削除し、文章で説明した。	絵の違いを問うているので簡潔に文章化した。
	96	図	修正	「江戸時代の大名配置」の図を、10万石以上の大名で、親藩・譜代と、外様・幕府の直轄都市の二つに分けて点図化した。	図を理解しやすいように10万石以上とし、点図も内容で二つに分けた。
	97	図	修正	「徳川氏系図」を將軍の順に文章化し、94ページの「江戸幕府の成立」の後に示した。	内容が複雑で、図示は理解が困難なため。
	97	図	修正	「佐賀藩の予算」の図を数表化した。	理解しやすくするため。
	98	絵	削除 修正	庶民の食事の風景の絵を削除し、文章で簡潔に説明した。	指導者は、食事の違いを補足説明することが望ましい。
	99	図	修正	「人口の割合」の図を数表化した。	理解しやすくするため。
	109	絵	削除 修正	「大阪港のにぎわい」の絵を削除し、絵の説明文に蔵の立ち並ぶ様子を追加修正して、中見出しの文末に示した。	絵の注としては長いので文末にもってきた。
	110～ 111	地図	削除 修正	地図中の写真や絵は削除した。絵に描かれている運搬された品物は文章で表した。	地図は資料編1に示してあるが、本図は直接本文とかわかっており、容易に学習できるようにした。
	113	絵	削除	「歌舞伎小屋の様子」の絵を削除し、簡潔に文章化した。	内容については、指導者の補足説明が望まれる。
	114	図	修正	「主な年中行事」の図を文章化した。	理解しやすくするため。

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
歴史	117	図	修正	「ある農家の家計」の図を数表化した。	理解しやすくするため。
	119	絵	削除 修正	「工場制手工業（マニファクチュア）による綿織物業の様子」の絵を削除し、文章化した。	簡潔な文章なので、指導者の補足説明が望まれる。
	128	絵	削除 修正	「フランス革命」に関する風刺画2枚を削除し、次の説明文に修正した。 「身分制社会から市民社会へ 当時の絵が2枚並べられています。1枚は聖職者と貴族が岩の上に立っており、その岩の下に平民がつぶされて苦しんでいる様子が描かれています。この絵はフランス革命前の社会の様子を描いたものです。もう1枚は聖職者と貴族と平民がいっしょに岩をかついで歩いている様子が描かれています。この絵は革命が目指す社会を描いたものです。」	課題の主旨を生かすため。
	132	写真	修正	「紡績機」の写真の説明文を以下のように修正した。 「そのころつくられた紡績機を使うと、綿糸を大量につくることができた。ジェニー紡績機は、（以下原文どおり）・・・」	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	136	絵	削除 修正	「ペリーの肖像」3枚を削除し、次の説明文に修正した。 「ペリーの肖像 ペリーの肖像があります。その横にペリー来航後、日本人が描いたペリーの絵があります。肖像画と日本人の描いた絵は、全く違った顔、違った服装で描かれています。」	課題の主旨を生かすため。
	143	絵	削除 修正	「天地の秤」の絵は削除し、以下の説明に修正した。 「一天地の秤―「天地の秤」という絵では、いろいろな身分の人が、大きな天秤ばかりにのり、この絵の中では天秤は釣り合っています。」	
		グラフ	修正	「人口の割合」を数表化した。	学習しやすいようにするため。
	147	地図	修正	「明治初期のアジア」の地図は文章化した。	理解しやすくするため。
	149	絵	削除 修正	「自由民権派の演説会」の絵は削除し、次の説明文に修正した。 「自由民権派の演説会 自由民権派の演説会の様子を描いた絵があります。演説会には弁士と聴衆の他に警察官がいます。それぞれ何か言っています。」	課題の主旨を生かすため。
	155	絵	削除 修正	「初期議会の国会議員選挙の風刺画」の絵は削除し、次の説明文に修正した。 「一初期議会の国会議員選挙の風刺画―この風刺画では、次のような選挙の様子が描かれています。投票箱が置かれ、投票箱に男の人が投票用紙を入れています。テーブルの両脇には警察官が立ち、テーブルの前にはひげを生やした男の人が座り、投票の様子を見えています。」	課題の主旨を生かすため。
	156	絵	削除	日清戦争前の四か国の関係の風刺画を削除し、次の説	課題の主旨を生かすため。

分野	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
歴史			修正	明文に修正した。 「一日清戦争前の四国の関係—フランス人のビゴーが、朝鮮と日本・清・ロシアの関係を風刺して、一匹の魚を日本と清が釣ろうとしているところをロシアが眺めているというように描いています。」	め。
	157	グラフ	修正	「賠償金の使いみち」のグラフを数表化した。	学習しやすいようにするため。
	158	絵	削除 修正	日露戦争に対する風刺画を削除し、説明文を修正した。	課題の主旨を生かすため。
	164	グラフ	修正	「品目別輸出の割合」のグラフを数表化した。	学習しやすいようにするため。
	166	グラフ	修正	「女工たちの暮らし」のグラフを数表化した。	学習しやすいようにするため。
	168	絵	修正	「新橋停車場の夜景」の絵は削除し、説明文に次の文を追加して修正した。 「—新橋停車場の夜景—場面は夜で月が出ています。たくさんの人が駅のまわりを歩いています。大人だけでなく子どもの姿もあります。馬車や人力車もあり、とてもにぎわっています。建物には明かりがつき、ガス灯もともっています。」	課題の主旨を生かすため。また、絵については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	190	写真	修正	写真は削除し、説明文を「身売りの相談」とした。	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	191	グラフ	修正	「四大財閥に集中する資本」のグラフを数表化した。	学習しやすいようにするため。
	193	写真	修正	「二・二六事件」の説明に写真の内容を追加した。	写真資料の内容を生かすため。
	196	写真	削除 修正	「パーマネントお断り」の写真は削除し、看板の内容を文章化した。それと合わせて課題も修正した。	課題の主旨を生かすため。写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	203	写真	削除 修正	「撃ちてし止まむ」の写真は削除し、説明文を修正した。同時に課題も修正した。	課題の主旨を生かすため。
	208	絵	削除 修正	「戦争はもういや」のイラストを削除し、説明文を次のように修正した。 「—戦争はもういや—「戦争放棄」と書かれた大きなつぼで軍艦や飛行機が焼かれ、電車や船や消防車がでてくるという絵があります。(以下原文どおり)」	課題の主旨を生かすため。
	211	写真	削除 修正	「青空教室」,「黒塗り教科書」の写真は削除し、説明文を次のように修正した。 「空襲で校舎が焼けたところでは、しばらく外で授業	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
歴史				が行われた（青空教室）。また、はじめは戦時中に使用されていた教科書に墨を塗って使った。墨に塗られた部分には、なんと書いてあったのだろう。」	
公民	4	絵	削除 修正	各課題のマークと人物の絵を削除し、マークを「課題」、「エピソード」、「調査作業」に修正した。	各課題の主旨を生かすため。
	6～7	年表	修正	「現代社会の歩み」を項目により、4ページに分けた。	学習しやすいようにするため。
	11	図	修正	「主な耐久消費財の普及率」の図は、二つに分割した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	13	地図 グラフ	修正 修正	「食の国際化」の地図は、文章化した。日本の食料自給率の円グラフは、数表化した。	学習しやすいようにするため。
	15	写真	削除	「これらの人が従事しているのは、何とよばれている職業でしょうか。」の課題と写真は、削除した。	視覚以外の感覚を活用した学習が困難な課題であるため。
	15	表	修正	「中学生のなりたい職業」の表を文章化した。	学習しやすいようにするため。
	23	写真	修正	「チカッ美恵子さんの作品」の写真は削除し、模様を簡略にして点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	24～25	マンガ	削除 修正	マンガは削除し、会話の内容を文章化した。	会話のみでも学習しやすいようにした。
	26～27	図	修正	「未来の家庭」の図は削除し、文章に修正した。	文章によつて的確に理解できるようにした。
	29	絵	削除 修正	「PRのポスター」の絵を削除し、その説明文を本文に追加した。	絵の主旨を生かすようにした。
	31	絵	削除	「2頭のロバ」の課題を削除した。	視覚によらなければ困難な課題であるため。
	32～33	写真 年表	削除 修正	「人権思想と憲法の歴史」の年表は写真を削除し、年表を点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	34	図	削除 修正	「日本国憲法の三つの基本原理」の図は、文章化した。	学習しやすいようにするため。
	35	絵	削除 修正	「新しい憲法のはなし」の絵は削除し、説明文のみを示した。	絵については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	36	絵	修正	「基本的人権」の絵は、文章化した。	理解しやすいようにするため。
	38	写真	削除 修正	「新聞記事」の写真は削除し、説明文のみを示した。	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	42～43	調査	削除	「車いすマップを作ろう」の調査を「私たちのまちの	学習しやすいようにする

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
公民			修正	「バリアフリー度」調査に修正し、文章でまとめる内容にした。写真および図は削除した。	ため。
	46	写真	削除 修正	「ミャンマー政府に民主化を求める人々」の写真は削除し、説明文のみを示した。	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	50	図 グラフ	削除 修正	「不在者投票のいろいろ」の図は削除し、「不在者投票数の変化」のグラフを点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	52	写真	削除 修正	「1970年と1999年の四日市市」の写真は削除し、その内容および説明を次のように文章化した。 「三重県四日市市 1970年には空も汚れていましたが、1999年には市の環境への取り組みで川がきれいになり、シジミをとる人もいます。」	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	54	写真	削除 修正	「シドニーオリンピック」の写真は削除し、説明文のみを示した。	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	55	写真	削除 修正	「ドナーカード」の写真は削除し、模様を点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	56	グラフ	修正	「人権についての意識調査」のグラフを数表化した。	学習しやすいようにするため。
	57	写真	削除 修正	阪神・淡路大震災の写真を削除し、「1995年、阪神・淡路大震災が occurred しました。」のあとに会話を文を入れるよう修正した。	学習しやすいようにするため。
	63	グラフ	修正	各区の得票数を示す a, b, c, d をア, イ, ウ, エに変えた。	学習しやすいようにするため。
	67	グラフ	修正	「与党と野党」の帯グラフを数表化した。	学習しやすいようにするため。
	68	絵	削除 修正	「国会の仕組み」の絵は削除し、図を点図化した。	触覚による観察によつて的確に理解できるようにした。
	69	図	修正	「国会の一年」の図を文章化した。	学習しやすいようにするため。
	71	図	修正	「法律ができるまで」の図を点図および文章に修正した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	74	写真	削除 修正	「国の行政機関が集まっている地域」の写真を削除し、説明文のみを示した。	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	76	図	修正	「国法の構成」の図を簡略化して点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	78	写真 絵	削除 修正	写真は削除し、「裁判所内部」の絵を点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
公民	80	写真	削除修正	「国会・内閣・裁判所」に関する新聞記事の写真を削除し、おもな見出しを次のように文章化した。 「新聞記事から ア 首相に森氏を指名 イ 衆院解散、総選挙へ ウ 現行定数配分は違憲 エ 草場最高裁長官指名を閣議決定」	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	82	図	削除修正	地図は削除して文章化し、「地方公共団体の執行機関と議会との関係」の図を点図化した。	触覚によつて的確に理解できるようにした。
	84	写真	削除修正	「さいたま新都心」の写真を削除し、「埼玉県ではさいたま新都心が建設されています。」の説明文を示した。	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	86	写真	削除修正	「YOSAKOIソーラン祭り」の写真を削除し、説明文のみを示した。	写真については、必要に応じて説明するよう配慮する。
	90	図	修正	「川崎市民の市政に期待すること」の図は、数表化した。	的確に理解できるようにした。
	91	図	修正	「日本の果たすべき役割」の図を数表化した。	学習しやすいようにするため。
	93	写真説明	修正	写真説明を次のように修正した。 「スーパーマーケットでは野菜工場を営むところもあります。」 「コンピューターで「せり」を行っている花市場もあります」	原文の写真説明のままでは、理解しにくい。 (以下、同主旨のものは省略)
	94	絵図	修正	絵図の中の要点のみを残し、簡略にして点図化した。	絵図について、指導の過程で説明することが望ましい。
	95		修正	まとめの作業部分は、「最終的に自分が出した結論をまとめてみよう。」と修正した。	学習しやすいようにするため。
	96		修正	ゆみとようすけのふきだし文を修正した。	教科書に記入する作業を、ノートに記入するようにした。
	97	写真	修正	「家庭の収入と支出」の写真の内容を修正し、おもな項目と数字を選び出した。	収支内訳等については、指導の過程で説明することが望ましい。
	99	絵図	修正	「いろいろな悪質商法と被害件数」の絵図を修正し、相談件数の数値を数表化した。	図の内容を、指導の過程で具体的に説明することが望ましい。
		図	修正	「製造物責任の例」の図を修正し、枠内の文と矢印のみで示した。	図中の文のみでも理解が可能なため。
	100	写真	削除	「青果市場のようす」の写真と説明文を削除した。	指導の過程で、説明する

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
公民					よう配慮することが望ましい。
	101	図	修正	「流通の合理化」の図を修正し、2つの流れに分けた。	理解しやすくするため。
	102～	図	修正	「株式会社のしくみ」の図を、2つの点図に分けた。	理解しやすくするため。
	103	グラフ	修正	「企業の文化支援額の推移」を、数表化した。	数値のみでも、理解が可能のため。
	104～ 105	絵 写真	修正	「市場経済と金融」の9つの質問カードの絵と写真を削除し、カードの文を簡条書き文に修正した。	カードの文のみでも理解が可能のため。
	105	写真 説明	修正	「出荷されることなく山積みされたキャベツ」と「台風で落ちたりんご」の写真説明文を修正した。	説明文だけで理解しやすくするため。
	106	図	削除	市場と価格の図を削除し、会話文は「ようすけ 価格は信号機のようなはたらきをしているんだね。」のみを残した。	本文の説明で理解可能なため。
	107	グラフ	修正	「日本での生産の集中」のグラフを数値化した。	数値のみでも理解が可能のため。
	107	絵	修正	吹き出しの女子名を「ようこ」とした。	名前をつけることで、会話文であることを分かりやすくするため。
	108	写真	修正	写真および説明を次のように修正した。 「レストランの店頭では、使えるクレジットカードが表示されているところがあります。」 「さとし 次のカードはどこで使えるのかな。 ア CASH CARD イ テレホンカード ウ 図書カード」	指導の過程で、写真の内容を説明することが望ましい。
	109	図	修正	「国民経済と銀行のはたらき」の図を、2種類の点図にした。	図が複雑であり、触覚で観察して理解しやすくするため。
	110	グラフ	修正	「労働時間の国際比較」のグラフを数値で示した。	数値のみでも理解が可能のため。
	112～ 113	図	修正 追加	図は削除し、かおりの吹き出し文を次のように修正した。 「かおり わたしたちの身のまわりには、道路、学校、公園、空港、上下水道の他に、どんな社会資本があるかな。」	点図で表現するのは困難であるため。
	113	図	修正	「おもな租税」の図を、直接税と間接税の2つに分けた。	図が複雑なので、理解しやすくするため。
	114	グラフ	修正	「歳入と歳出」の帯グラフを、歳入と歳出の2つに分け、数表化した。	点図では理解しにくいいため。
	117	グラフ	修正	「年齢別人口割合の推移」のグラフを、2種類の点図	触覚で観察して理解しや

分野	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
公民				に分けた。	すい資料として生かすため。
	122	グラフ	修正	「資料－１ 年金改革法と社会保障費の割合」の棒グラフを点図化し、折れ線グラフは数値を棒グラフ上に記載した。	触覚による観察をしやすくするため。
		グラフ	修正	「資料－２ 高齢化とその負担」のグラフの数値を示した。	数値のみでも理解が可能のため。
	124～125	学習課題	修正	「地球ビンゴ！」をしようを「調べてみよう！」「わたしたちの学校のなかの世界」とし、進めかたを次のように修正した。 「次のＡ～Ｐについて、できるだけ多くの友だちに聞いたり、聞かれたりしながら聞いた人の名前とどの国に関することかをまとめてみましょう。 終わったら、自分たちが発見した地球レベルの結びつきについて、話し合ひましょう。」	学習しやすい内容とするため。
		写真説明	修正	「人権問題に取り組むNGOのアムネスティ・インターナショナル」の写真を削除し、その説明文を修正した。	写真の内容を説明文に生かすため。
	127	グラフ	修正	「世界のエネルギー事情」、「おもな国のエネルギー別発電量」の地図上のグラフを数表で表した。	地図上のグラフが複雑であり、数値の方が理解しやすいため。
		グラフ	修正	「おもな国のエネルギー別発電量」の棒グラフの数値を示した。	点図では理解しにくいいため。
	131	図	追加	「酸性雨のしくみ」と「温暖化のしくみ」を点図にし、その説明文を追加した。	点図のみでは、理解しにくいいため。
		写真説明	修正	「ダイオキシン濃度の基準値を伝える新聞記事」の写真説明文を修正して、文末に（注）として挿入した。	新聞報道資料を生かすため。
	133	写真説明	追加	「自然観察の案内をするのも仕事の一つ」の写真説明文を「その他、自然観察の案内をするのも仕事の一つです。」と修正して、本文中⑤の後に挿入した。	写真説明を生かすため。
	135	写真説明	修正	「植林するマレーシアの学生たちと木の成長を調べる日本人研究員」、「伐採される熱帯林」の写真説明を、次のように修正した。 「マレーシアでは、広大な熱帯林が伐採されています。そのため、熱帯林の再生をめざして、植林活動に参加している学生や、木の成長を調べる日本人研究員がいます。」	写真資料の説明を、理解しやすくするため。
	136～137	写真地図	削除修正	「南」と「北」の格差」の写真資料は削除し、GDPと人口増加率の２つの地図に分けて点図化した。	分布領域が複雑に重なり、理解しにくいいため。
		グラフ	削除	「食品を捨てた理由」のグラフを数表化した。	数表の方が理解しやすいため。
	138	地図	修正	「世界のおもな地域結合」の地図の要素を、２つに分	ASEANについては、

分野	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
公民				けて点図化した。図中「ASEAN加盟国」については、「資料編「用語解説 ASEAN参照」とした。	加盟地域が他の機構等と重複していて触覚による観察が困難なため。
	139	地図	削除	「アジアにおける地域圏の新しい試み」の地図を削除した。	本文中に説明されているため。
	140～ 141	紙芝居	削除	紙芝居の絵は削除した。	本文のみでも、理解が可能なため。
	142	グラフ	修正	「難民の数」のグラフを数表化した。	数値で理解可能なため。
	144	図	修正	図を平面図に簡略化して点図化した。	立体図は触覚による観察で理解しにくいいため。
	146	グラフ	修正	「国連加盟国数の増加」のグラフを数表化した。	数値で理解可能なため。
	151	グラフ	修正	「おもな先進工業国の政府開発援助額の比較」のグラフを数表化した。	数値で理解可能なため。

3 資料編の内容

(1) 地理的分野

[第1巻]

資料番号	表題 (タイトル)	原典の内容	原典のページ	備考
1	口絵A (1) 食べる (2) 学ぶ (3) 祝い	写真, 地図 写真, 地図 写真, 地図	口絵表 口絵表 口絵表	位置を点図で示し, 説明文を入れる。
2	口絵B (4) まつり 世界のフェスティバル (5) 守る 世界遺産条約 (6) 世界の自然 さまざまな気候	写真, 地図 写真, 地図 写真, 地図	口絵表 口絵裏 口絵裏	位置を点図で示し, 説明文を入れる。
3	世界の気候帯	地図	口絵裏	点図
4	水半球と陸半球	地図	8	点図
5	世界の六大陸と三大洋	地図	10	点図
6	日本付近の海溝と山脈	図	11	点図
7	海洋と陸地, 大陸別の割合	円グラフ	11	数表化
8	世界の時間帯	地図	16~17	点図
9	マッカーサーの世界地図	地図	23	簡略にして点図化。
10	1940年代以降に独立した国々	地図	25	国境線は削除して点図化。
11	EUの国々 (2000年)	地図	25	点図
12	世界の小さな国々	図	26	点図
13	アメリカ合衆国にいろいろな国を重ねた図	図	26	ヨーロッパの国境線は削除して点図化。
14	世界のおもな人口の多い国と少ない国	統計図	27	イラストは削除し, 1億人以上の国を抽出して点図化。統計は数表化。
15	アメリカの領土の拡大	地図	27	点図
16	ドイツの国境の変化(A)と, エジプトの国境(B)・アメリカとメキシコの国境(C)	地図	35	関連性の高い周縁国のみ点図化。世界地図は削除する。
17	新東京国際空港から世界各地への所要時間と週当たりの便数	地図, 説明文字句	37	主要都市を点図化。国境線, 矢印は削除。所要時間は数表化。
18	日本の領土の移り変わり	地図	41	点図
19	北方領土とその周辺	地図	41	点図
20	日本の領土面積の変化	棒グラフ	41	数表化
21	日本の都道府県別の人口	分布図	42	600万人, 600~200万人, 200万人以下の3段階表示で点図化。
22	日本の都道府県別ごみの量	分布図	42	400万t, 400~100万t, 100万t以下の3段階表示で点図化。

資料番号	表題 (タイトル)	原典の内容	原典のページ	備考
23	日本の最深積雪量分布図	分布図	42	10cm未満, 10~50cm, 50cm以上の3段階表示で点図化。
24	もちの形からみた東日本と西日本の区分	分布図	43	県境線は削除し, 点図化。
25	動物の分布からみた地域区分	分布図	43	点図
26	五畿七道と都道府県の区分	図	45	点図
27	「富士見」がつく主な地名の分布	分布図	48	県境線は削除。集中度の高い地域を中心に点図化。
28	「ベツ」「ナイ」がつく地名の分布	分布図	49	点図
29	圏央道のルート	道路図	67	県境線は削除し, 点図化。
30	八王子市にある大学・短期大学と開設された年	分布図	68	点図
31	多摩ニュータウンの位置と広がり	地図	69	点図
32	八王子市の農家数と耕地面積の移り変わり	折れ線グラフ表	70	点図および数表
33	八王子市の農業カレンダー	図	71	イラストは削除し, 点図化。
34	八王子市の主な農作物の作付け面積の移り変わり	円グラフ	71	数表化
35	八王子市の工業団地と完成した年	地図	73	点図
36	八王子市にある工場の関連工場の広がり	分布図	73	数表化
37	八王子市内の鉄道網と駅ごとの乗降客数, 大規模店の分布	調査図	75	鉄道網と大規模店の分布を点図化。駅ごとの乗降客数を点図化。

〔第2巻〕

資料番号	表題 (タイトル)	原典の内容	原典のページ	備考
1	東京を中心とする道路網 (200年)	地図	87	県境線を削除し, 点図化。
2	東京都の人口と卸売業・小売業の年間販売額の全国に占める割合	帯グラフ	88	点図化
3	東京都の卸売業・小売業の商店数と年間販売額の割合	帯グラフ	88	点図
4	東京都の卸売業の業種別の年間販売額	円グラフ	88	数表化
5	東京都の区市町村別の商店数	統計図	89	点図。商店数について数表化。
6	東京都の小売業の店の種類別の商店数と, 年間販売額	円グラフ	89	数表化
7	東京都のデパートとコンビニエンスストアの店の数と年間販売額の移り変わり	折れ線グラフ	90	点図
8	東京都のコンビニエンスストアのうち24時	円グラフ	91	点図

資料番号	表題 (タイトル)	原典の内容	原典のページ	備考
	間営業している店の割合			
9	北海道と東京都の産業別人口	二重円グラフ	93	産業別人口は点図化。業種の内訳は数表化。
10	北海道の工業の種類別の生産額	円グラフ	93	数表化
11	北海道の稲の品種別の作付面積	円グラフ	95	点図
12	北海道の支庁別の稲の作付面積と米の生産量	統計図	95	支庁別地図は点図化し、統計は数表化。
13	長崎県各地の観光客数と県外客数の市町村別割合	統計図 円グラフ	102	長崎県地図を市町村境界線は削除して点図化。統計およびグラフは数表化。
14	帯グラフの作り方	帯グラフ	105	点図
15	世界の米の生産量の割合を表した円グラフ	円グラフ	105	点図
16	5才未満の子どもの死亡率	分布図	106	国境線は削除し、3段階で表示。
17	一人当たりの国民所得	図	107	方眼は削除し、輪郭線のみ点図化。
18	北海道の主な都市の人口の変化	棒グラフ	109	点図
19	主な国の人口	円グラフ	115	数表化
20	中国の民族分布	分布図	115	点図
21	中国の工業生産額の移り変わり	折れ線グラフ	116	点図
22	中国の鉄鋼の生産	分布図	117	大きい数値を抽出して点図化。
23	中国のカラーテレビの生産	分布図	117	大きい数値を抽出して点図化。
24	アメリカの農業地域	区分図	120	点図
25	黒人とヒスパニックの分布と、インディアンの指定居住区	分布図	121	点図
26	アメリカの州別の小麦の生産量	分布図	122	点図
27	アメリカの州別のとうもろこしの生産量	分布図	122	点図
28	アメリカの州別の綿花の生産量	分布図	122	点図
29	アメリカの州別の農業生産額	分布図	123	点図
30	世界の小麦の生産量	円グラフ	123	数表化
31	世界の小麦の輸出量	円グラフ	123	数表化
32	オランダの国土の様子	地図	127	点図
33	日本のオランダからの輸入	円グラフ	129	数表化
34	主な国のチーズ輸出量	円グラフ	129	数表化
35	EUへの加盟を申請している国々(1999年)	地図	132	点図

[第3巻]

資 料 番 号	表 題 (タ イ ト ル)	原 典 の 内 容	原 典 の ペ ー ジ	備 考
1	東京にある外国の大使館の分布	分布図	133	点図
2	日本の山地と平地の割合	円グラフ	137	点図
3	日本の主な山地と火山の分布	地図	138	山地・山脈と火山の2種類に分けて点図化。
4	世界と日本の川の比較(A)と、日本の主な平野と川の分布(B)	折れ線グラフ 地図	139	折れ線グラフを点図化。地図は平野と川の2種類に分けて点図化。
5	日本の植生分布	地図 分布図	142	(A) 水平分布と (B) 垂直分布に分けて点図化。
6	日本の気候区分と各地の気温と降水量	区分図 各地の気温 と降水量	143	点図
7	日本の自然災害	分布図	145	点図
8	リゾート法にもとづく基本構想承認地域	一覧表	148	表。点図 (資料9と対応)。
9	ラムサール条約登録湿地と、日本の主なナショナルトラスト運動の例	地図	149	ラムサール条約登録湿地と日本の主なナショナルトラスト運動の例を点図化。
10	琵琶湖の水の利用状況	区域図	150	琵琶湖周辺図および淀川水系流域界と琵琶湖水利用区域界の2種類に分けて点図化。
11	主な国の人口密度	イメージ図	155	人口密度を方眼で表現して点図化。
12	日本の人口と、人口増加率・出生率・死亡率の変化	折れ線グラフ	156	点図
13	日本の人口分布	分布図	157	1点1000人は削除し、人口集中度の高い地区を2段階に分けて点図化。
14	主な国の高齢者人口の割合	折れ線グラフ	157	点図
15	中国の人口の移り変わり	折れ線グラフ	158	点図
16	主な先進国の社会保障費の割合	帯グラフ	159	数表化
17	東京23区への通勤・通学者の流れ	図	161	矢印は削除し、点図化。
18	世界の水産物輸出入	円グラフ	168	輸出と輸入の2つに分けて数表化。
19	日本の米の生産量・作付面積・在庫量	折れ線グラフ	169	点図
20	都道府県別・地方別・品種別の米の生産	円グラフ 統計地図 帯グラフ	169	地図は削除し、図中の統計は数表化。品種別の作付面積は数表化。地方別の米の生産量は点図化。
21	主な国の耕地1ha当たりの穀物の収量	棒グラフ	169	点図
22	米の輸出国の割合	円グラフ	169	数表化
23	主な果物の生産量	統計図	170	数表化

資 料 番 号	表 題 (タ イ ト ル)	原 典 の 内 容	原 典 の ペ ー ジ	備 考
		棒グラフ 円グラフ		
24	日本の主な漁港と海流	統計図	170	漁港は点図化し、水あげ量は数表化。
25	みかん・りんごの生産量と、バナナの輸入 量の変化	折れ線グラフ	170	点図
26	日本の木材消費量の変化	折れ線グラフ	171	点図
27	日本の木材の輸入先	統計図	171	数表化
28	世界の漁獲量	円グラフ	171	数表化
29	日本の主な輸入水産物	円グラフ	171	数表化
30	日本の肉類の消費量	折れ線グラフ	173	点図
31	日本の家畜数	円グラフ	173	数表化

〔第4巻〕

資 料 番 号	表 題 (タ イ ト ル)	原 典 の 内 容	原 典 の ペ ー ジ	備 考
1	日本の原油の輸入先	円グラフ	174	数表化
2	日本のエネルギー供給の推移	帯グラフ	175	数表化
3	主な資源の輸入相手国	帯グラフ	175	数表化
4	日本の石炭生産の変化	折れ線グラフ 棒グラフ	175	点図
5	主な国の発電のエネルギー源別割合	帯グラフ	176	数表化
6	日本の発電量構成の変化	帯グラフ	176	数表化
7	日本の原子力発電所	統計図	177	点図。統計は数表化。
8	日本の工業地域と地域別の工業生産額の変 化	分布図 帯グラフ	179	県境は削除し、点図化。グラフは数表 化。
9	産業別の従事者・出荷額の構成	棒グラフ	179	数表化
10	太平洋ベルトの主な工業の分布	分布図	180	県境は削除し、点図化。
11	各地の主な地場産業	地図	181	地図は削除し、文章説明。
12	主な国の100人当たりの自動車保有台数	棒グラフ	186	点図
13	路面電車が走っている都市	地図	189	文章説明
14	産業廃棄物の地域別の年間排出量	統計図 円グラフ	190	数表化
15	世界の宗教分布	分布図	203	点図
16	主な言語別の人口	帯グラフ	205	数表化
17	日本の方言分布	分布図	209	文章説明

資 料 番 号	表 題 (タ イ ト ル)	原 典 の 内 容	原 典 の ペ ー ジ	備 考
18	沖縄の土地利用と農産物の生産	土地利用図 円グラフ	213	地図は点図化。 円グラフは数表化。
19	世界の主な空港の国際便乗降客数	棒グラフ	218	点図
20	海外工場での日本の自動車生産台数	円グラフ	220	数表化
21	A自動車会社の海外生産工場の分布	分布図	220	文章説明
22	日本と主な国との輸出入額とその割合	円グラフ 地図	221	数表化
23	日本の港別にみた貿易額の割合	円グラフ	221	数表化
24	世界のインターネット利用者数	円グラフ	222	数表化
25	発信情報量の主な都道府県別割合	円グラフ	223	数表化
26	主な航空路線の旅客数と、北海道内の航空 路線	路線図	225	主要航空路線のみ点図化。
27	市長会議に参加した都市	分布図	228	点図
28	主な国の人口密度と一人当たりGDPの比 較	棒グラフ	231	点図
29	都市と農村の人口の変化	棒グラフ	233	点図
30	三大都市圏への人口と事業所の集中	円グラフ 棒グラフ	234	人口分布は数表化。事業所数は点図 化。
31	世界の国々のあらし	表	236	数表化
32	都道府県のあらし	表	238	数表化

(2) 歴史的分野

[資料編 1]

資 料 番 号	表 題 (タ イ ト ル)	原 典 の 内 容	原 典 の ペ ー ジ	備 考
資料1	国と都道府県の対照図	地図	巻末	一覧表
資料2	シルクロード	地図	19	点図
資料3	6世紀ごろの東アジア	地図	20	点図
資料4	大陸と陸続きになっていたころの日本列島	地図	22	動物の図は削除し、点図化。
資料5	金印	地図 写真	27	地図を点図化。
資料6	8世紀の世界	地図	37	点図
資料7	遣唐使船の航路	地図	41	点図
資料8	調・庸を都まで運ぶために必要な日数	地図	41	日数を9日以内、10～29日、30日以上 の3種類に修正して点図化。
資料9	古代の東北地方	地図	45	点図

資料番号	表題 (タイトル)	原典の内容	原典のページ	備考
資料10	元軍の進路	地図	62	点図
資料11	主な守護大名とその領地 (1365年ごろ)	地図	67	点図
資料12	琉球王国の貿易ルート	地図	69	点図
資料13	主な一揆の発生地	地図	74	点図
資料14	主な戦国大名とその領地 (1560年ごろ)	地図	85	点図
資料15	江戸時代の大名配置 (1664年)	地図	96	親藩大名と譜代大名, 外様大名と幕府直轄地の2図とし, 統計は数表化。
資料16	朱印船の航路と日本町の所在地	地図	102	点図
資料17	対外関係の窓口	地図	104	点図
資料18	江戸時代の産業と交通	地図	巻末	産業図と交通図に分ける。
資料19	幕末における日本への外国船の接近	地図	120	点図
資料20	独立当時のアメリカ合衆国	地図	128	点図
資料21	ラテンアメリカ諸国の独立 (19～20世紀初め)	地図	130	点図
資料22	太平天国の領域	地図	135	点図
資料23	戊辰戦争	地図	138	点図
資料24	自由民権運動の広がりとは主な事件	地図	150	点図
資料25	日清戦争	地図	157	点図
資料26	列強の中国侵略 (1900年ごろ)	地図	158	点図
資料27	日露戦争	地図	160	点図
資料28	辛亥革命	地図	163	点図
資料29	第一次世界大戦	地図	174	点図
資料30	第一次世界大戦後のヨーロッパ	地図	181	点図
資料31	朝鮮での独立運動	地図	183	点図
資料32	日中戦争の広がり	地図	194	点図
資料33	第二次世界大戦中のヨーロッパ	地図	201	点図
資料34	太平洋戦争	地図	202	地図。主な戦いは文章化。
資料35	朝鮮戦争	地図	212	点図
資料36	沖縄にある米軍基地	地図	222	点図

〔資料編2〕

資料番号	表題 (タイトル)	原典の内容	原典のページ	備考
資料1	過去から未来へ	グラビア	口絵	項目と解説。

資料番号	表題 (タイトル)	原典の内容	原典のページ	備考
資料2	平和への願い	グラビア	口絵	写真削除。項目と解説。
資料3	文明のあけぼの（文明がおこったところ・化石人骨が発見されたところ）	地図	15	点図
資料4	文明のあけぼの（古代の主な都市・洞窟壁画が発見されたところ・宗教がおこったところ）	地図	15	点図
資料5	文明のあけぼの	グラビア	15	項目と解説。
資料6	東アジアにおける古代遺跡	地図	15	点図
資料7	東アジアにおける古代遺跡	グラビア	15	項目と説明。点図。
資料8	いろいろな古墳	グラビア	33～34	項目と説明。
資料9	古代の文化（正倉院にいたる道）	地図	47	点図
資料10	古代の文化（正倉院にあるもの、外国から出土したもの）	グラビア	47	写真削除。項目と説明。
資料11	天平の仏教芸術	グラビア	48	写真削除。項目と説明。
資料12	国風文化と浄土信仰	グラビア	48	写真削除。項目と説明。
資料13	13・14世紀の世界（モンゴル帝国の最大版図・元の服属地域・マルコ=ポーロの行程）	地図	53	点図
資料14	13・14世紀の世界（十字軍の遠征路・イブン=バットゥータの行程・マリ王国やアメリカの文明の地域など）	地図	53	点図
資料15	13・14世紀の世界	グラビア	53	項目と説明。
資料16	中世の文化と暮らし（中世の主な都市・港）	地図	53	項目と説明。
資料17	中世の文化と暮らし	グラビア	53	項目と説明。
資料18	15・16世紀の世界（大航海時代 その1）	地図	81	点図
資料19	15・16世紀の世界（大航海時代 その2）	地図	81	点図
資料20	15・16世紀の世界（大航海時代）	グラビア	81	項目と説明。
資料21	南蛮文化・桃山文化（安土桃山時代の主な城・城趾）	地図	81	点図
資料22	南蛮文化・桃山文化	グラビア	81	項目と説明。
資料23	17・18世紀の世界	地図	127	点図。当時のできごとは一覧表。
資料24	17・18世紀の世界	グラビア	127	項目と説明。
資料25	日本の産業革命と東アジア	地図	127	点図
資料26	日本の産業革命と東アジア	グラビア	127	項目と説明。
資料27	今につながる50年の世界	地図	173	点図。独立国名は一覧表。
資料28	今につながる50年の世界	グラビア	173	項目と説明。

資料番号	表題 (タイトル)	原典の内容	原典のページ	備考
資料29	これからのわたしたちの課題	地図	173	点図
資料30	これからのわたしたちの課題	グラビア	173	項目と説明。
資料31	第一次世界大戦前の世界 (1914年の列強植民地)	地図	199	点図
資料32	第二次世界大戦前の世界	地図	199	点図
資料33	各地の主な遺跡・史跡・できごと	地図	裏表紙裏	点図
資料34	歴史年表 (1) 日本と世界の時代区分と社会の様子 (2) 日本と世界の主なことがらと文化の動き		巻末 折り込み	

(3) 「公民的分野」

表	題	原典のページなど
国際宇宙ステーション		表紙裏
先端技術を活用する社会		表紙裏
男女が共同してつくる社会		裏表紙裏
バリアフリーの社会		裏表紙裏
日本国憲法		1 5 4
男女共同参画社会基本法		1 6 2
フランス人権宣言		1 6 3
大日本帝国憲法		1 6 3
人権教育・啓発推進法		1 6 4
子ども（児童）の権利条約		1 6 4
同和対策審議会答申		1 6 5
アイヌ文化振興法		1 6 5
女子差別撤廃条約		1 6 7
男女雇用機会均等法		1 6 7
障害者基本法		1 6 8
老人福祉法		1 6 8
教育基本法		1 6 8
労働基準法		1 6 9
労働組合法		1 7 0
情報公開法		1 7 1
世界人権宣言		1 7 1
国際人権規約		1 7 2
民法		1 7 3
地方自治法		1 7 4
消費者保護基本法		1 7 5
製造物責任法		1 7 5
独占禁止法		1 7 6
介護保険法		1 7 7
環境基本法		1 7 8
国際連合憲章		1 7 8
ユネスコ憲章		1 7 9
日米安全保障条約		1 8 0
世界遺産条約		1 8 1